

ほけんだより



２０２６年１１月発行

運動、芸術、食欲の秋。きりん組はお泊り会があります。色々な秋を満喫しましょう。寒暖差も激しい季節。園のお散歩でも、肌寒い日用の羽織りもののご用意を。今月は、全園児健診・歯科検診があります。

10月の病欠　眼脂　１人/１日　結膜炎　１人/１日　熱　７人/６日　昨日熱　７人/５日
突発性発疹　３人/５日　鼻汁　２人/２日　発疹　１人/１日　下痢１人/２日　嘔吐１人/１日
大事とり　１人/１日

インフルエンザ予防接種　経鼻？皮下注射？

２歳以上が接種できる経鼻薬ですが、皮下注射同様、副反応が出ることがあります。鼻汁・熱などの報告があります。高熱が出ることもあり、タイミング的に注射をしたからか、インフルエンザなどの感染症にかかったからか、判別しがたいことがあります。

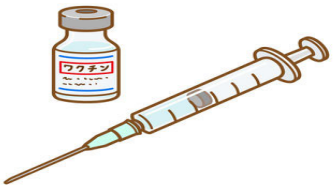
経鼻薬フルミスト…生ワクチンであるため、接種後にインフルエンザのような症状が出ることがあります。接種後、少し経って（３日後）発熱し下熱。直後に３９℃の高熱で、検査するとインフルエンザＡ陽性だった事例がありました。周囲にインフルエンザ罹患者がいたなら移ったと考えられます。また、生ワクチンを接種したことで陽性反応が出ることもあります。予防接種後は、接種効果が減弱するので、タミフル等の治療薬も 2-3 週間控えます。保育園・学校で行事などがあると、接種のタイミングも大事です。皮下注射に比べ、一回で済むメリットはありますが、かかりつけ医にご相談下さい。

生ワクチン



生きたウイルスや細菌を使い、自然感染に近い強い免疫をつけるワクチン。自然に感染したときと同じような免疫反応が起こり、強く長く免疫を獲得できる。妊婦や２歳未満の子、免疫が低下している人は接種できない（日本の場合、接種できるのは 2-18 歳まで）。ワクチンが伝播する可能性があり、接種後 1-2 週間は、新生児との接触を避けるのが望ましいとされています。

不活化ワクチン



病原体を完全に失わせたものを使う。体内で増殖しないため、免疫は生ワクチンより弱く、十分な免疫をつけるには複数回の接種が必要。生後６か月から大人も接種できます。

全園児健診…１１/５（木）午後　ひよこ・幼児

１１/１９（木）午後　ひよこ通常健診・りす・うさぎ



歯科検診…１１/１２（木）午前　全園児

※幼児の視力検査の予定が年２回入っていましたが、今後年１回になります。今年度は、秋の視力検査は行いません。